



志賀高原
ユネスコ
エコパーク

信州 たかやま議会

152号

2026年1月25日

発行/高山村議会

発行責任者/梨本 進

編集/議会報編集特別委員会

ふるさとに帰ってきました

三つ子誕生で6人家族になりました



12月定例会開催 2-3

一般質問 9名の議員が質問..... 4-8

議会モニター会議..... 9

9月定例会報告..... 10-11

新議会編成..... 12

新議員に聞く..... 13

研修会報告..... 14-15

西原 聡さん家族の紹介 16

インタビュー記事 特集!!

新人議員に聞く

新議長ってどんな人?

西原家の子育てについて

令和7年 12月定例会

令和7年度 一般会計補正予算 総額 1億289万円追加 (年間累計55億6,856万9千円)

令和7年第6回12月定例会は12月2日から12日までの11日間の日程で開催されました。工事変更請負契約1件、条例制定及び改正3件、令和7年度一般会計及び特別会計補正予算合わせて5件、陳情1件、発議4件があり、すべて原案通り可決されました。一般質問は9名登壇し、村政課題など16項目について質問しました。

今定例会に提出された議案他（採決の結果はP3に）

令和7年度一般会計補正予算の内容 総額1億289万円

定額減税不足額給付金給付事業 1,229万円

令和6年度事業のうち、所得税減税3万円及び住民税減税1万円を差し引くことができなかった人に対する給付金

村政施行70周年事業の一環で案内看板整備等 2,118万6千円

令和8年10月に村政施行70周年を迎えるので、記念事業として公共サインを制作し村内の案内看板を見直すための経費

空き家活用推進事業補助金 200万円

空き家の購入費用

議場空調設備設計委託料 480万円

議場の空調設備設計料



議場の空調環境改善へ前進



令和6年度高山村公民館長寿命化改修工事変更請負契約

増工契約額 6,964万1千円追加
(工事総額5億2,306万円)

高山村公民館改修工事の増工費

特別会計補正予算 4件

令和7年度高山村診療所特別会計補正予算 288万円追加

带状疱疹ワクチン接種者増加のため

令和7年度高山村介護保険特別会計補正予算 52万3千円

介護情報基盤の構築と業務のデジタル化などの電算委託料

令和7年度高山村上水道事業会計補正予算 271万7千円

配水池監視システム 40万7千円、消火栓移動231万円

令和7年度高山村下水道事業会計補正予算 105万6千円

牧のマンホールポンプ工事

条例の一部改正 3件

高山村乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

児童福祉法に基づき、事業所の設備や運営の最低基準を定める

児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例（3本）

児童福祉法の一部改正に伴う改正

高山村火入れに関する条例の一部を改正する条例

2025年2月の大船渡市の林野火災を踏まえ「林野火災注意報」の導入など林野火災予防強化のため

陳情・発議 4件

発議第10号 広く国民の意思を反映した衆議院議員選挙制度の実現を求める意見書
国民の声を適切に反映することができる衆議院議員の選挙制度を求める

発議第11号 暫定税率の廃止に伴う安定的な代替財源の確保を求める意見書
暫定税率の廃止に伴う地方自治体の財源確保を求める

発議第12号 重点支援地方交付金の拡充を通じた地方創生の実現を求める意見書
物価高騰の折、重点地方交付金の拡充を求める

発議第13号 診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬10%以上の引き上げを求める意見書
1年前倒しで、介護・障害福祉サービス等報酬改定、10%以上の引き上げを求める

議案に対する各議員の賛否結果 (○賛成 / ●反対)

議案名		表決結果	藤沢和人	篠原尚光	沖島祥介	勝山正弘	滝澤聖	黒岩清道	湯本辰雄	西原澄夫	山崎秀治	高井央葉	梨本進
議案	第55号 令和6年度村単高山村公民館長寿命化改修工事変更請負契約 概要：高山村公民館改修工事の増工 6,964万1千円追加	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
	第56号 高山村乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例 概要：児童福祉法に基づき、事業所の設備や運営の最低基準を定める	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第57号 児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例 概要：児童福祉法の一部改正に伴う改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第58号 高山村火入れに関する条例の一部を改正する条例 概要：2025年2月の大船渡市の林野火災を踏まえ「林野火災注意報」の導入など林野火災予防強化のため	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第59号 令和7年度高山村一般会計補正予算（第4号） 概要：令和7年度一般会計補正予算 総額1億289万円追加	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第60号 令和7年度高山村診療所特別会計補正予算（第1号） 概要：带状疱疹ワクチン接種者増加のため	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第61号 令和7年度高山村介護保険特別会計補正予算（第2号） 概要：介護情報基盤の構築と業務のデジタル化などの電算委託料	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第62号 令和7年度高山村上水道事業会計補正予算（第2号） 概要：配水池監視システム 40万7千円、消火栓移動 231万円	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第63号 令和7年度高山村下水道事業会計補正予算（第2号） 概要：牧のマンホールポンプ工事	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情	第6号 診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬10%以上の引き上げを求める陳情書 概要：1年前倒しで、介護・障害福祉サービス等報酬改定、10%以上の引き上げを求める	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議	第10号 広く国民の意思を反映した衆議院議員選挙制度の実現を求める意見書 概要：国民の声を適切に反映することができる衆議院議員の選挙制度を求める	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第11号 暫定税率の廃止に伴う安定的な代替財源の確保を求める意見書 概要：暫定税率の廃止に伴う地方自治体の財源確保を求める	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第12号 重点支援地方交付金の拡充を通じた地方創生の実現を求める意見書 概要：物価高騰の折、重点地方交付金の拡充を求める	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第13号 診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬10%以上の引き上げを求める 概要：1年前倒しで、介護・障害福祉サービス等報酬改定、10%以上の引き上げを求める	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和7年第5回高山村10月臨時会開催

9月の村議選を受け、10月1日午前10時から議会構成と、同意案件5件、議案1件を審議し、全議案賛成で採択されました。

・議会構成は12ページに記載します

同意第2号 監査委員に 宮本孝雄さん選任（任期：令和7年10月4日から4年）

同意第3号 固定資産評価審査委員に 黒岩章さん選任（任期：令和7年10月23日から3年）

同意第4号 教育委員会教育長に 澁谷茂夫さん選任（任期：令和7年10月24日から3年）

同意第5号 教育委員会委員に 黒岩千秋さん選任（任期：令和7年10月24日から4年）

同意第6号 監査委員に 西原澄夫さん選任（任期：令和7年10月1日から2年）

議案第54号 令和7年度 蕨温泉新源泉掘削工事請負契約 新源泉掘削工事 2億5,388万円

令和7年 第6回 高山村議会12月定例会一般質問

1	湯本 辰雄 議員	1. 公共施設のトイレについて 2. 高校生への入学及び通学における支援について
2	沖島 祥介 議員	1. 防犯カメラ導入について 2. 山田牧場整備事業について 3. 「志賀高原ユネスコエコパーク」と「日本で最も美しい村」連合について
3	篠原 尚光 議員	1. 荒廃している未利用の農地を宅地転用することについて
4	高井 央葉 議員	1. 高山村の子ども達が心身共に安定して生活を送るために
5	勝山 正弘 議員	1. 山田牧場の観光案内について 2. 村制施行 70 周年記念事業について
6	西原 澄夫 議員	1. 災害に強い村づくりに向けて
7	山崎 秀治 議員	1. 物価高騰対策について 2. 学校給食費の単価改定について 3. 国保について
8	藤沢 和人 議員	1. 山田温泉から山田牧場にかけての防災体制について 2. ガソリン暫定税率廃止による村の財政運営への影響見直し
9	黒岩 清道 議員	1. 鳥獣被害対策について

2名の議員が山田牧場休憩所、ハイキングコースについて質問!!
春のシーズン前に案内看板、標識柱を設置との答弁

各議員の顔写真の横の二次元コードを読み込んでいただくと、それぞれ一般質問のYouTube ページが表示されます。お時間のある時にご覧ください。

公共施設のトイレ状況と高校生への支援拡充

ゆもと たつ お
湯本 辰雄 議員



指定避難所の高山小学校

問題を議論した。男性用のトイレが女性用の1.7倍だった。」との報道があり、村内施設のトイレ状況を問う。

総務課長

①指定避難所の高山小学校の便器数は、男性50基、女性と多目的合計37基。中学校は、男性46基、女性と多目的合計34基である。②これまで公共施設において女性からの苦情はありませんが、従来からの経験則と内閣府の管理ガイドラインを参考にトイレの設置をしている。村民体育祭では、中学校プールに10基、体育館に11基あるので簡易トイレは6基設置した。今後この方針を考えている。

公共施設のトイレ状況に問題はないか

問 11月11日の信
毎で「駅や空港な
どのトイレの数は
女性用が少ない」
「女性用トイレだ
けに行列ができる

高校生への支援拡充を

問 高校入学における費用は、制服代・タブレット端末・体操着など、およそ10万円から30万円の支出がある。制服自由化校であっても新たに服装を用意されている。

①高校新入生に10万円の入学祝い金の支給を。

②山ノ内町では高校3年生まで電車やバスの定期代に20%を補助している。電車通学への補助も求める。

村長

①村では、地域公共交通の維持・存続や利用促進を図るため、バス定期券購入者に70%補助を行っている。今年から高校生が利用する定期券以外のKURURUカードに年間1万ポイントを付与している。本村の子育て支援策は手厚いと思っっている。入学祝い金支給は研究が必要と考える。

②高校生の必要経費にはバラツキがあるので、助成は公正適切でなければならぬ。電車通学への補助は考えていない。

来春 ハイキングコース案内板・標識柱を設置!

おきしま しょうすけ
沖島 祥介 議員



多機能型防犯カメラの導入を

問 近年防犯カメラは防犯・安全機能だけにとどまらず、AI分析・観光統計・交通・防災支援機能など地域の安全と活性化を両立する多機能型防犯カメラへと進化している。

設置にあたっては個人情報保護など様々な事前準備が必要だが、安心・安全な村として主要箇所には防犯カメラの設置を望む。

出来れば、段階的に多機能型の防犯カメラの導入、実証を進めてはどうか。

住民税務課長

AI技術を駆使した多機能型防犯カメラは災害、防災の予見など地域全体の安全性向上に寄与することが期待できる。

しかし、クラウド利用料などの運用コストも必要となり、費用対効果を検証しなければならぬ。

なお、最近、熊の出没状況や積雪による道路の寸断などの防災面に対応するため、幹線道路に導入・設置は有効と思われるので研究していきたい。

また、村民の防犯意識の醸成や住民参加の見守りが重要と考える。

山田牧場ハイキングコースの改善を

問 山田牧場休憩所、ハイキングコースの現地調査をおこなったが、このままでは集客が見込めない。今後の対応をどうか。

産業振興課長

ハイキングコースは利用者の方からの声もあり、令和8年春までにコース全体がわかる案内板と順路を明示する標識柱を設置する。

「志賀高原ユネスコエコパーク」と「日本で最も美しい村」連合加盟の強みを生かせ

問 全国で、「ユネスコエコパーク」は10か所、「日本で最も美しい村」連合に加盟しているのは57自治体である。

しかし全国で両方の組織に該当するのは高山村だけである。この強みを村内外に生かしていくことこそが持続可能な村にしていくことではないか。

総務課長

村内各所の老朽化した看板に替わり、新たにロゴを入れ、認知度を高める観光案内看板の統一デザイン化の計画がある。

また、広域観光や広報活動など、出来ることから着実に実践していく。

遊休荒廃農地の活用で人口増・活性化

しのはら なおみつ
篠原 尚光 議員



荒廃農用地の宅地転用で人口増を

問 村内では荒廃農用地が増えているように思える。一方で新規転入者の受け皿となる宅地が

不足、空き家物件も限られている。①荒廃農用地を宅地として活用する取り組みの現状認識はどうか。②農地所有者が宅地転用しやすくするため、行政による支援や制度整備を検討する考えはあるか。

③村が主体となつて、「農地の宅地化」販売」までを一体的に支援する仕組みを創設する考えはどうか。④宅地造成による人口増・税収増などの効果予測をどのように考えているか。

村長

①農地パトロールで、遊休荒廃地と確認した農地は所有者の利用意向を確認するとともに、村の補助事業を紹介するなど農地としての利用を促している。農地を宅地等に転用する場合は、農地法などにより制限があり、一定の要件を満たさない限り認められませんが、このため村としては、農

地は農地として利用していただけよう支援していく。②農地の転用は、農地法などにより制限があり村の裁量は一切認められていません。このため、遊休荒廃地の解消に向けて、農地として利用の支援を行うことが重要と考えている。③農地の宅地化には農地法など遵守しなければならず、農地を宅地化し販売する取り組みの創設は難しいと考えている。④宅地造成により住宅が建設されれば、人口減少対策と地域活性化につながる効果が期待される。農業を大切に守り育てるとともに、人口減少に歯止めをかけ、魅力ある村づくりに取り組んでいく。



遊休荒廃地となった農地

柔軟な相談支援体制を!

たか い なか ば
高井 央葉 議員



子どもや子育て相談の支援体制の充実を

問 子ども達や親の不安などが、確実な支援に繋がっていき相談体制について問う。

別支援情報を共有し、入学後も担任や支援員、関係機関が連携して継続的な支援に努めている。

教育次長
村では、子どもたちが健やかに成長できるよう、「第三期高山村子ども・子育て支援事業計画」を策定し、計画に基づいた施策を実施している。

「親や子どもたちの負担を軽減する相談体制」については、子育て支援センターを拠点に、乳幼児から高校生までを対象とした相談を受け付け、関係機関と連携しながら親子に寄り添った支援を行っている。

「包括的な取り組み」としては、乳幼児期から高校生までを対象に、保健・福祉・教育分野等を含めた総合的な支援体制を構築している。

「保育園や小・中学校との連携」については、専門職、保育士、保健師等が連携し、どこに相談しても適切な支援につながる体制を整えている。入学前には生活情報や個



「子ども家庭センター」については、ワンストップ相談体制の構築に向け検討しているが、専門職確保や財源が課題で、設置時期は未定である。

「スクールカウンセラー」

については、県配分時間が不十分との要望を受け、村独自予算で追加対応を行った。県への拡充要請は難しい状況であり、今後は子育て支援センター職員の出向等も検討していく。

村制施行70周年記念事業の内容はいかに

かつやま まさひろ
勝山 正弘 議員



山田牧場の観光案内が不十分ではないか

問 令和6年度の事業において、「にぎわいの場」構想の一環で、山田牧場の休憩施設とトレッキングコースが整備された。約5000万円の費用で完成したが、村民に対して周知が不十分と思われる。観光客に対してもわかりやすい案内板が必要と思われる。

村制施行七十周年記念事業の発表はいつするのか

①秋の紅葉トレッキングで利用者や地元の見聞・反響は確認したのか。

②トレッキングコースの全体図や入口の大きな案内板が無い。また公共施設のトイレのわかりやすい案内板も無い。地域おこし協力隊や学生による手作り感のある大きな案内板や標柱があれば効果的と思われるかどうか。

産業振興課長

①高山村のホームページでは案内したが不十分であった。コースの入り口や順路がわかりにくいといった声が寄せられている。

②令和8年春の利用開始までに視認性が高く、コースの全

問 高山村は、昭和31年に高井村と山田村の合併により村制が施行されて以来、令和8年9月で七十周年を迎えるが、記念式典及び事業は何を予定しているのか。9月の一般質問において、副村長が『近いうちに発表を予定している』との表明であったが、現時点まで何の発表もない。

式典は1日で終了するが、記念事業の規模など骨子はできたのか、またいつ発表を予定しているのか。

村長・総務課長

記念事業の企画・立案にあたっては、職員によるプロジェクトチームを設置し内容の検討と費用の調査を実施中。

7月に各団体の参加による検討委員会を設置し、12月中旬に骨子をまとめ、予算計上・審議をお願いする予定。

ハード・ソフト両面からの災害対策に

にしはら すみ お
西原 澄夫 議員



災害に強い村づくりに向けての取り組みは

問 国内では過去の災害発生が少ない地域でも、大きな地震・台風・大雨での災害が起きる時代となっている。

ます。災害に強い村づくりに向けて、ハード・ソフト両面での対策について伺います。

副村長

今後、起こりうる災害に備え、地域防災計画に沿った消防・防災体制の充実・強化や、地区防災計画の策定支援のほか、日常の防災意識の醸成に努めるなど、村民や村を訪れる人にとって、安全・安心な村づくりに取り組んでいます。

河川への土砂流入などによる浸水被害の発生などを防止する、土石流を防ぐため砂防堰堤の整備、国や県と連携して、道路、橋梁、上下水道の老朽化対策を実施します。

村内14か所の公共施設を指定避難所に、防災備品も配備しておりますが、引き続き避難所の環境整備に努めてまいります。

消防団員のなり手不足が年々深刻化してきており、地



村民参加による大雨や地震を想定した防災訓練、自主防災会、消防、警察、商工会、民生児童委員、日赤奉仕団参加

域消防力の低下が懸念されています。高山村消防団活動応援制度の充実を図り新たな団員確保に努めているところです。村民に対する迅速な支援が行えるよう、各種団体や民間企業と災害発生時における災害復旧活動や、医療救護活動・物資供給や電気通信関係の協力、各種応急復旧活動に関する支援の災害協定を締結しています。

迅速・効果的な物価対策が必要

やまざき しゅう じ
山崎 秀治 議員



物価高対策として何を考えているか

問 10月の物価は3.0%上昇で50か月連続上昇。実質賃金は九か月連続マイナスで、2012年以降年額34万6千円さがっている。

①村として計画している物価高対策はあるか。②佐久市では、農業者にガソリンや軽油などの経費補助を行っている。補助の考えはあるか。③消費税減税が物価高対策として一番効果的、国に消費税減税を求めるべきだ。

村長

①拡充される国の「重点支援交付金」を活用するなどして、子育て世帯や高齢者世帯、低所得世帯への支援を着実に実行していく。②農業者への対策はメニューの一つに加えることも検討していく。③消費税の減税は地方財政への影響が懸念されるので、国に消費税減税を求めることは考えていない。

学校給食費の単価引き上げを

問 飲食料品の値上げが続く、コメの価格も大きく上昇

した。学校給食の1食当たりの単価を引き上げ、質を確保しおいしい給食を求める。

教育次長

今年度は25円引き上げ給食を提供してきた。この単価改定以降も様々な食品の値上がりがあり、次年度も見直しが必要なる状況である。学校給食運営委員会で委員から意見を聞き、必要に応じて単価の見直しを図っていく。

国保の均等割り・平等割の引き上げはあるのか

問 ①国保の都道府県化により、令和9年度までに応能割・応益割を49対51にすることが県の方針となっている。これに従って国保税を考えていくのか。②子どもの均等割りの独自減免を求める。

村長

①村の応能・応益の割合は、64対36で県が示すものとは差がある。県が示す標準税率に向けて、応益割の均等割・平等割の課税額を引き上げなければならぬと考えている。②子どもの均等割り独自減免は難しい。

観光地の防災に対する
備えを十分に!

と かず
藤 沢 和 人 議員



山田温泉から山田牧場にかけての防災体制は

問 観光資源が集中している地域であるが、防災体制が不十分ではないか。

①携帯電話の不
通エリアをどの
程度把握しているか。

②道路や電気・通信インフラ等が寸断された場合の、避難体制に対する現状と今後の予定は。

③十一月三日に発生した停電において、役場の対応内容と今後の改善点は。

副村長

①大手通信三社については、ウェブサイトで概ねカバーされていると公表されているが、実際には山の影や渓谷の中では不感エリアがあると想定している。
②直ちに避難をすることは適切ではない。一時的に宿泊施設などに身を寄せ、正しい情報を把握したうえで避難方法を検討する。状況によってはヘリコプターを使った輸送も検討する必要がある。
③関係職員が登庁し対応にあたった。関係機関への連絡や情報収集、飲料水や灯油の準備を行い、停電解消後は、水道水源の復旧を確認し対応を終えた。今後は沿道樹木の伐採、備蓄の在り方の検討、村

の災害対応の充実を進める必要がある。

ガソリン暫定税率廃止による村財政運営への影響は

問 暫定税率廃止法の成立により地方贈与税の減収が見込まれる。

①地方揮発油贈与税の減収となる見込み額はいくらか。

②現状、地方揮発油贈与税の使用は。

③代替となる財源は何かあるのか。

④行政サービスの低下に繋がらないか。

総務課長

①本則税率分4.4円、暫定税率分の0.8円をもとに試算すると、約165万7千円の減収見込みとなる。
②一般財源なので特定の事業に充てているわけではない。
③村加盟の全国町村会など地方6団体等で政府への財源確保要請活動を行っている。事業の費用対効果を検証、事務事業の見直しなどで対応し、影響の低減を図っていく。
④減収が行政サービスの低下に直結しないよう、事業実施にあたっては国や県などの補助金の確保に努め、最小の経費で最大の効果をえられるよう努力していく。

鳥獣被害の対策が必要では



問 全国的にクマの人身被害や目撃情報が異常に多発している。高山村でも、鳥

獣被害や目撃情報が多いと感じる。耕作放棄地や荒地、電柵のまわりの雑木も大きくなり、地区での管理も高齢化などで、行き届かない問題点など、対策が必要ではないか。

①今年の、鳥獣被害や鳥獣捕獲の現状はどうなのか。

②村民への、クマやサルが目撃情報の発信や、注意喚起が不十分と感じるが。

③センサーライトなど自己防衛策等のチラシや補助などの対策が必要では。

④電柵管理が行き届かない地区も多く、雑木などの対策が必要と感じるが。

⑤耕作放棄地や荒地の雑木や雑草は、動物の隠れ場所になっている。一歩踏み込んだ地区や各委員会との連携した対策が必要と感じるが。

産業振興課長

①熊による農作物への被害報告は、昨年の倍の6件で、サ

ルは4件。捕獲頭数は、熊が約3倍の13頭でサルは5頭であり、近隣の須坂市でも熊の捕獲数は増加している。
②集落付近の目撃情報は、村のホームページで情報提供するとともに、住民に危険性が高い場合には、速やかに情報無線により注意喚起を図っている。
③自己防衛策等は、村の補助制度は考えていない。
④電気柵維持管理交付金制度を有効活用頂き、維持管理に協力をお願いしたい。
⑤今までの対策を引き続き実施し、国や県において、熊被害への対策が強化されている。最新の情報収集に努め、有効な対策を講じたい。

鳥獣被害から村民を守るには

と きよみち
黒 岩 清 道 議員



議員の「なり手不足」を みんなで考える



第2回議会モニター会議報告

11月22日(土)、第2回目の議会モニター会議を開催しました。今回は、9月の議会議員選挙を受けて、『議員のなり手不足』についてなど、村民の皆さんが思っていることなど、様々なご意見を伺いました。

9月の村議会選挙に思うこと

- 無投票だったことは残念、良くない
- 活気ある選挙になって欲しかった
- 選挙になったら、議会や議員にもっと興味を持ってもらえたかも
- ある程度村政に満足しているから立候補しないのでは？

議会から

議会としても、選挙にならなかったことは大変残念に思います。

今後、興味を持ってもらえる議会作りを進めたいと考えております。

今「村の議会」に感じていることは？

- 議員の活動が見えない
- 若い人が議会に関心が持てない
- 村民と距離が遠い
- いつものメンバーが議員になっている
- 女性になりやすい環境になっていない
- SNS 発信が弱い
- 若い人も議員になりやすい仕組みがない

議会から

活動の見える化や環境整備など、出来るところから進めていきたいと考えております。



活発な意見交換や、発表を行っていただいた

どんな人に「議員」になってほしい？

- いろんな年代の人になってほしい、バランス良く
- 周りの人を巻き込める人
- 多くの女性になってほしい
- 行動力のある人
- 若い人が出てほしい
- 村外からの目線も大切

議会から

今後もモニターの皆さんなど、村民の皆さんと一緒になり手について考えていきます。

どんな「きっかけ」があれば議員になってみようと思いますか？

- 議員報酬が高かったら (25万円以上・今の倍になったらなど)
- 具体的に「これを一緒に変えていこう」と誘われたら
- 「自分の意見をしっかり言えるから向いているよ」と言ってもらったら
- 選挙の時や、議員になってから、しっかりサポートしてくれる人がいたら



議会から

皆さんの率直な意見に、「なるほど」と思うこともありました。今後も年代、性別等問わずに立候補していただけるにはどうしたら良いか、考えていきます。

令和7年9月定例会は、8月26日から9月10日までの日程で開催されました。今定例会には、令和6年度一般会計・特別会計等の決算認定8件、令和7年度一般会計補正予算など7件、条例の一部改正5件などが提案され、常任委員会審査を経てすべて原案を認定・可決しました。

一般質問には9名の議員が登壇し行政運営等について質問しました。
(9月議会の「議会報」は議員の改選により発行されていないので、今号でその一部を紹介しています)。

令和6年度工事等現況調査報告

令和5年度に続き、決算審査に当たり主な工事等の現況調査を行いました

高山中学校 空調設備更新工事 (教育委員会)

煙突式石油ストーブからFF式に更新されました。



村道荒井原・紫2号線改良工事 (建設水道課)

拡幅工事(歩道整備含む)が行われ、児童・生徒の通学の安全性が確保されています。



高井運動広場 夜間照明LEDへの 更新工事 (教育委員会)

夜間照明をLED化に更新しました。



北部トレセン外構改修工事 (総務課)

指定避難所や選挙の投票所として利用されている入口を障害のある方も利用しやすくするために改良されました。



デイサービスセンター温泉ポンプ改修工事 (健康福祉課)

YOU 游ランドから供給されている「温泉」のポンプに不具合が生じたために改修。



山田牧場休憩施設整備工事、 環状ハイキングコース整備工事 (産業振興課)

にぎわいの場構想で山田牧場に休憩施設とハイキングコースを整備しました。



議案に対する各議員の賛否結果（○賛成 / ●反対）

議案名	表決結果	久保田雄吉	勝山正弘	滝澤聖	梨本進	沖島祥介	高井央葉	柴田弘男	湯本辰雄	松本茂	山崎秀治	黒岩清道	西原澄夫
財産の取得について 概要：地力増進施設で使用するミニホイールローダーの取得	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高山中学校体育館空調設備等整備事業設計施工請負契約 概要：指定避難所となっている高山中学校体育館に空調設備を整備するための契約	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度高山村一般会計補正予算（第3号） 概要：歳入歳出に2億1547万円を追加し、累計額を54億6,567万円とするもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療・温泉開発特別会計補正予算 概要：それぞれの特別会計に必要な予算の計上	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
上水道事業・下水道事業会計補正予算 概要：企業会計の補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度一般会計歳入歳出決算の認定について 概要：令和6年度は、歳入53億4,666万円、歳出48億492万円の決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○
令和6年度高山村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定 概要：歳入8億5,507万円の前年比4.8%減、歳出8億18万円の前年比5.1%減の決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○
令和6年度診療所・介護保険・後期高齢者医療・温泉開発の各特別会計決算の認定 概要：各特別会計の歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度上水道事業・下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定 概要：上水道事業は96万円、下水道事業は1,413万円の剰余金を減債積立金として処分	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
免税軽油制度の継続を求める意見書 概要：免税軽油制度は令和9年3月廃止予定ですが各種産業に与える影響が大きいので存続を求めるもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高額療養費の自己負担上限額の引き上げをしないことを求める意見書 概要：高額療養費の自己負担の引き上げをしない	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(主な議案についてのみの掲載です)

9月定例会の一般質問

勝山 正弘 議員	「中学の部活動」は維持できるのか
松本 茂 議員	村民の安心安全な生活環境について
滝澤 聖 議員	第六次高山村総合計画後期基本計画の農業関係について
黒岩 清道 議員	奨学金返還支援制度について 農作物の猛暑による水不足対策について
湯本 辰雄 議員	村公共交通について たかやま保育園について
山崎 秀治 議員	訪問介護事業所の再開について 学校納入金の軽減について 中古農機購入補助制度の導入について 排外主義の台頭について
高井 央葉 議員	長期休みに子ども達の居場所を 子ども達の安心安全な登下校環境を
梨本 進 議員	「温泉源泉」を守るための施策と作業道整備について
沖島 祥介 議員	YOU 遊ランド経営の方向性について 蛍光灯製造中止による LED 照明への切り替えへの支援などについて 旧山田共撰所跡地利用について

紙面の関係で各議員の一般質問は項目のみの紹介です。詳しくは議会ホームページから各議員の YouTube をご覧ください。





高山村議会議員構成表 (前期 令和7年10月1日~令和9年10月1日)

(略 長：委員長 副：副委員長 幹：幹事)

正副議長	議長：梨本 進	副議長：高井央葉			
議会運営委員会	長：沖島祥介	副：湯本辰雄	藤沢和人	篠原尚光	高井央葉
総務文教常任委員会	長：滝澤 聖	副：湯本辰雄	篠原尚光	黒岩清道	高井央葉
福祉産建常任委員会	長：勝山正弘	副：藤沢和人	沖島祥介	西原澄夫	山崎秀治
予算決算常任委員会	長：黒岩清道	副：藤沢和人	篠原尚光	沖島祥介	勝山正弘
			滝澤 聖	湯本辰雄	西原澄夫
			山崎秀治	高井央葉	
議会報編集特別委員会	長：沖島祥介	副：滝澤 聖	藤沢和人	湯本辰雄	山崎秀治
議会活性化特別委員会	長：高井央葉	副：西原澄夫	藤沢和人	篠原尚光	黒岩清道
			湯本辰雄	山崎秀治	
	幹：沖島祥介	幹：勝山正弘	幹：滝澤 聖		
雁田山採石調査特別委員会	長：沖島祥介	副：藤沢和人			

問 この度、新議長になられました。抱負をお聞かせください。

梨本 議会として「チエツク&バランス」をもって行政に向き合い、緊張ある関係を保ちつつ、協力しながら最良な意思決定を導いていきたい。また、積極的な政策立案と政策提言をしながら、村づくりに努めたい。

問 昨年の議会議員選挙の定員不足、無投票の結果について、ご意見をお聞かせください。

梨本 有権者の投票する権利を奪う結果となり残念。なり手不足の課題と向き合い、多様な方々誰もが立候



梨本議長へのインタビュー

梨本議長ってどんな人？

補しやすい環境づくりに取り組みたい。

問 高山村の人口減少についてのお考えは。

梨本 将来の村の存続に関わる喫緊の課題で、特に若年層の流失は地域の活力低下を招きます。村ならではの資源を生かした「特色ある村づくり」で地域経済の活性化を図り、若者世代が将来に「夢と希望と誇り」を感じてもらえる村づくりが重要だと思います。

問 現在、家族は何人ですか。

梨本 (72歳 堀之内在住) 妻と息子夫婦に孫の二歳になる女の子の五人家族。と小屋裏に潜むメス猫一匹。

問 趣味、特技ありますか。

梨本 長野工業高校から高山体協野球クラブまで野球一筋だったか…

今は気ままに家庭菜園と庭木いじりが楽しい。

問 最近、特に変わった出来事などあれば、お答えください。

梨本 ヤマボクのスキー場安全祈願祭で、タカオ君と少し仲良くなれたかな？

白銀の世界が待ってますよ。

新人議員に

聞く

藤沢 和人 (56歳) 宮関区



議員への動機は

消防団の幹部を長年務めさせていただいた中で、地域の過疎化・少子高齢化という問題を、身をもって感じてきました。それら問題や課題を住民の代表として取り組んでいければと思います。

議員になってみての感想

とにかく勉強をしなければ、というのが率直な感想です。村を深く理解すること、住民の意見・要望を把握することなど、まだまだ足りていないなあと感じて日々を過ごしています。

これからの抱負

幅広く住民の意見・要望を聞いて村政に反映させていくことが第一です。次に議会活動を通じての行政へ

篠原 尚光 (41歳) 赤和区



議員への動機は

前回の選挙の際に、立候補する機会を逃してしまい、後悔していたので今回はチャレンジしてみました。職業としての経験、体験してみたかった。

議員になってみての感想

初めての議会では、議員様々な意見があり、目の前に立ちまはる高山村の役人たちの攻防(討論)を繰り広げる場所なのかなと。自分は住民の意見をそのまま取り入れて質問、意見しましたが、壇上では緊張を目の当たり、頭も回転せず消化不良、不完全燃焼。

チェック・監視。そして今までの経験を活かし、ICTを活用した地域活性化への提言をしていきたいです。

趣味 ウォーキング、戦国時代の解説動画閲覧

尊敬する人

自分ない価値観・言動・行動を色々な人から学べるので、特定の人物はいません。

総務文教常任委員会では、来賓として体育祭、中学校、保育園に行く事は、自分が通っていた当時の事を思い出す新鮮な感覚でした。

これからの抱負

今回の一般質問で議題にした意見を、自分が納得できるまで突き通します。高山村には住める場所が少ないので遊休荒廃地を宅地に変えて移住者への販売、村内の建築土木電気水道の業者を使つて家をつくる。移住者が増えれば必要な事柄も増え、それが活性化に繋がると思っています。

趣味

バンド演奏、水泳、一人旅、オシャレ

特技

行動力と度胸

尊敬する人

職人

愛読書

最近の本を読んでいるのですが、村上龍、東野圭吾、重松清、糸山秋子、原田ハマなど。文学は好きです。

好きなタレント

堀江貴文、成田悠輔

好きな音楽は

幅広く聞きます。

生演奏が好きなのですが、先日の差別をなくす村民集会でのコーラスグループの合唱、保育園児の発表会の歌が良かったです。

自己アピール

村のため、村で暮らす人、自分を含め、そのために頑張ります。宜しくお願い致します。

中学生議会

― 私達の活動を村政に ―

10月30日第25回中学生議会が高山中学校体育館で行われました。全校生徒(148名)で行われ、村議会議員も傍聴しました。発言は5班からあり、①子育て世代の支援策について、②公共交通の新制度に関わる追加案について、③高山村の知名度を上げるための今後の活動について、④高山村の自然環境の保全について、⑤制服のリサイクルについてでありました。答弁はすべて藤沢村長が行いました。中学三年生から高山村について学び感じたことをまとめ提案されたことに素晴らしいと思いました。

村からの答弁も真摯に行われましたが出来ない理由について国や県の財政面の支援策の説明が有ってもよかったですのかなと思いました。

中学生が学びを通じて「故郷高山村」をテーマに提案された意見は今後の議会の活動に反映されるよう取り組みます。



(滝澤 聖)

高山村の地方創生は

長野県地方自治政策課題研修会

11月4日(火)、第20回長野県地方自治政策課題研修会に参加しました。

講演は、「長野県版逆参勤交代で拓く地方創生の未来」と題し、三菱総合研究所主席研究員の松田智生さんにお話しいただきました。

そもそも「逆参勤交代」とは何か？江戸には藩邸が建設され、全国には街道や宿場町を整備することで、江戸に地方から新たな人の流れが生まれ、経済・文化が大きく発展した江戸の「参勤交代」。

これを逆の発想で捉え、地方への人の流れを創り、地方にオフィスや住宅等のインフラを整備し、働き方改革と地方創生を同時に実現するという「逆参勤交代」。東京一極集中が広がる中で、どうやって地方への人の流れをつくるかは、地方にとって大きな課題です。講演では、「会いたい人に会える」「やりたいうことが出来る」といった体験は魅力的で人の流れを創るといったヒントも頂きました。また、県内での実施事例も織り交ぜながら、構想に対する費用対効果の見える化や目的の明確化、そして自治体や企業が一緒になって全体で取り組む必要性などの課題も挙げて、お話いただきました。

講師の座右の銘は「百人の有識者より一人の実践者」とのこと。今後、高山村で出来ることを考え、動いていきたいと感じました。

(高井央葉)

誰もが参画できる議会を

地方議会活性化シンポジウム

11月13日にオンライン配信された研修会に参加しました。

「誰もが参画できる議会を目指して」との講演でした。事例紹介は長野県宮田村前議会議員の(大野早人氏)若手県奥州市議会議員(菅原由和氏)石川県議会議員(安居知世氏)の3氏による事例発表のあとパネルディスカッションが行われました。

宮田村議会

議会運営と住民参加のつながりを持つよう努力されました。むらびと会議(住民と議会の距離を縮める会議、高校生を含む住民で構成)や主権者教育(中学生を対象とした講演会、職場体験等)年間参画者数104名ほどになっている。

奥州市議会(大リーグ大谷翔平選手の地元)

議長マニフェストにまとめ工程表により議会改革を進めている。新たな情報戦略のもと平成29年より①タブレット端末の導入とペーパーレス化②Facebook・Twitter(現X)の開始③FM放送『電波に乗せて！奥州議会』の開始

など様々な電子媒体の利用を進め議会の見える化の取組みを行っています。特に議員の成り手不足解消の取組みは、市民フォーラム「なるぞ！なるぞ！！市議会議員」無投票の克服と市民への意識喚起を図っています。

石川県議会議員

(安居知世氏は元日本航空国際線客室乗務員、県議4期目、今年3月より石川県初の女性議長。全国都道府県議会議員会男女共同参画推進の取組みとして)

石川県議会における男女共同参画推進の取組みとして①議員活動と家庭生活が両立できるように規定を改正した②「議会だより」を通じ女性が活躍し、若い女性が「自分も議員になれる」と政治を身近に感じるきっかけづくりを目指している。③議会庁舎内の子育てスペースの設置④女性議員が党派や自治体の垣根を超えてつながりを深め、市町議会を含めた研修会の開催を目指す。

高山村議会も若い方や女性の皆様に議員になって頂けるよう懇談会や交流を通じ成り手不足解消に努めたいと思います。

(滝澤 聖)



地域ブランド化の推進に向けて

須高市町村議会 議員研修会

10月24日午後3時より須高市町村議会議員研修会が小布施町公民館講堂にて行われました。

須坂市、小布施町、高山村の議会議員が一堂に集まったこの研修会では、「3つの地域が描くひとつの未来」他地域の農業共創の事例からの提言をテーマに、株式会社ただいま代表取締役社長佐藤翼氏を講師に迎えてお話を伺いました。

地域産品のブランディング、そしてその商品のマーケティングについて、須高産品やその他の地域の支援事例を交えながらお話しいただいたのですが、ブランディング戦略では消費者は「地域ブランドの商品だから買う」のではなく「その商品が欲しいから買う」とのこと。そのためには特色や魅力を差別化できるポイントとして発信しつつ、地域外の意見を具現化していけば売れる地域ブランド商品が生まれてくる。また良いブランド商品を「欲しいブランド商品」に変えるためには、商品の良さと顧客の要望が交わっていくマーケティング戦略を考えなければならぬことを再認識させられました。

高山村にも良い地域産品がありますが、それらをどう「選ばれる商品」にしていくのか、ブランド化の推進に向けて有意義な講演でした。(藤沢和人)



高山村商工会と 地域経済等活性化の 懇談会

令和7年11月18日に高山村商工会と村議会の懇談会が行われた。若手経営者の声として、青年部長から村の活性化に対する不安要因を挙げられた。

『少子高齢化と人口減少問題を議会でも取り組んで対策を講じてほしい』とのこと。議員からは『非常に大きな課題であり、一朝一夕には人口減少の問題解決は困難だ。高山村のみならず日本中で同様の問題が発生している。ただ、住みやすく、安心して子育てができる村づくりは可能であり、行政側へのさらなる改善を提言していきたい。住みやすい村、安心して子育てができるといったメリットは、家族での移住も促進できる。このメリットある村のことを、村外に様々な方法でアピールしていくことが重要で必要と思われる、応援していきたい。』との意見が出された。

また、女性部長からは、『高山村に訪れる観光客に、直売所などの多目的施設が必要であり、現状では、せっかく訪れても立ち寄りたところや、お土産が無いのが残念である。



結局、高山村でお金を使わず、他の市町村や道の駅などで食事やお土産を購入されてしまう。ぜひ施設の検討を進めていただきたい』との要望もいただいた。『行政側でも現在、道の駅ではないがそれに代わる施設を検討中との回答をいただいているので後押ししていきたい。』と議員から回答が出された。

(福祉産建常任委員長 勝山正弘)

令和7年度 町村議会広報研修会

去る12月2日「令和7年度 町村議会広報研修会」を役場2階にてWEB会議形式で行った。

議会報編集委員会5名の他、2名の参加で実施し、3つの講座で行われた。

1 インタビューライター

丘村 奈央子氏による
「インタビュー記事を足して
読まれる広報にしよう」

人が関わっているインタビュー記事は読者の目を引く記事になる。インタビューに際しては、先方に、こちらの意図を良く理解してもらい、取材目的を明確にすることが、一段掘り下げる記事になり、読者にとっても読むメリットが実感できる。

2 映像講師・映像クリエイター

渡川 修一氏
「スマートフォンを活用した
撮影技術・動画作成の基本」

人が登場する動画は2〜3分程度が良い。人物の顔が明るく撮れる場所の工夫が必要。動画を二次元コードで作成し、議会報で議員紹介をし

ている寄居町、葉山町などを紹介。

注 高山村議会では一般質問の二次元コードで各自の動画配信中！

3 福岡県大刀洗町議会

議会広報委員会 委員長
平山 賢治氏

2015年から10年連続で全国コンクール入賞中の議会で、これまで評判の良かった特集記事 例えば18歳の方に「新有権者の声」など具体的な記事内容の紹介を中心に講義された。

所感

様々な手法を使って、読まれる議会報にしなければとの意識にさせてくれる実りある研修会であった。



6人家族で定住!

西原聡さん家族に
インタビュ―



父 長女 次女 長男 三女 母

問 いつ、どちらから中原に戻られましたか。

答 令和6年10月に長野市より来ました。

問 Uターンしようと思った動機はなんですか。

答 上の子が保育園入園時にあたり、親の敷地に新居を作りました。長野市に住んでいましたが、高山村の方が、子育て支援が充実しているのが大きな理由です。

問 少子化の現在、三つ子がお生まれになり、お子様が4人になりました。

答 少子高齢化で悩んでいる村にとって、一気にご家族6人が住まわれ、ありがたく思っています。子育てで、今一番大変なことは何ですか。

答 子供が4人いますので、お風呂に入れる時と、着替え、寝かしつける時が一番大変です。

問 中原に2つ公園がありますが、散歩にいかれたり、

遊んだりしますか。

答 公園自体が狭いのと、遊具も少なく、また、草が生えたり、砂場の砂もないので、たまにしか行きません。ふるさとセンター山田の方が多いです。(笑)

問 森林スポーツ公園YOUランドなどが良いかと思いますが、行かれますか?

答 イベントがあるときには行きます。

問 保育園を利用されているとお聞きしましたが、いかがですか。

答 一時保育を利用する時もありますが、一人2000円かかり、3人だと6000円になるので、結構大変です。それでも長野市よりは安いです。4月より未満児保育制度を利用する予定です。

問 村の子育て支援について 良い点、改良して欲しい点などあればお聞かせください。

答 おむつ代補助は大変助かります。しかし、我家みたいに一度に3人生まれると母乳が足りなく、ミルク代が月に4〜5万円かかってしまい、相当な負担になります。今後の少子化を見据えて、そのような場合に何か補助制度があれば、気兼ねなく産めるのではと感じます。また、子供に商品券をいただいたのも助かります。ただ、村でしか使えなく、お店側に、全サイズのおむつが揃っていない、また、離乳食のレトルト食品も置いていないのが悩みです。

問 長女への質問

好きな食べ物ありますか。

答 じじ、ばばが作ったりんご、ブドウ。

問 実家にお父様、お母さまがいらっしゃいますか、具体的にどのような手助けをいただいていますか。

答 お風呂、寝かしつけ、保育園送迎、食事など、色々な点で助かっています。



祖父 祖母
子育てに全面協力の両親



編集後記



新年明けましておめでとうございます。昨年の議会編成により、この度、新たなメンバーで議会報編集委員会が発足しました。

記事にもありますが、町議会会広報研修会でインタビュー記事などを取り入れると、興味を持って読まれるとの研修を受け、今回、一部にその形式を入れた紙面作りにチャレンジしたつもりです。

村民の方々にいかにして手に取ってもらえる議会報にしていくか? 編集委員皆で試行錯誤しながら、よりよい議会報にしていく所存です。ご意見等あればぜひどしどしお寄せください。

結びに、本年が皆様にとってより良き年となるようお祈り申し上げます。
(沖島祥介)

発行責任者

議長 梨本 進

議会報編集特別委員会

委員長 沖島 祥介

副委員長 滝澤 聖

委員 藤沢 和人

委員 湯本 辰雄

委員 山崎 秀治

発行/長野県高山村議会
編集/議会報編集特別委員会
TEL (026) 214-9763
印刷/株式会社